

講演要旨

演題

「独創的研究を支える思考と姿勢
— ノーベル賞研究に至る道のり —」

講師

北川 進（京都大学 特別教授）

■ 講演概要

金属イオンと有機分子で構成される多孔性金属錯体（金属-有機構造体(MOF)と言われる）は、過去25余年間に革新的な化学へと発展し、環境、資源、エネルギー、健康など、人類が抱える問題の解決に貢献している。MOFはその高い表面積と空隙率、細孔内修飾による貯蔵、分離、触媒、センシング能をならって次々と興味ある成果が発表され、気体のみならず液体をも対象に爆発的な進展を遂げつつある。

本講演では私のマインドセット、この化学の創生における歴史的な経緯、現状を述べ未来を展望する。

■ 講師プロフィール

北川 進（きたがわ すすむ） 京都大学 理事・副学長・特別教授

【経歴】

1974年	京都大学 工学部 卒業	2007-2012年	京都大学 物質-細胞統合システム拠点 副拠点長・教授
1976年	京都大学 大学院工学研究科 修士課程修了	2013-2017年	京都大学 物質-細胞統合システム拠点 拠点長・教授
1979年	京都大学 大学院工学研究科 博士課程修了	2016-2018年	京都大学 高等研究院 副院長
1979-1983年	近畿大学 理工学部 助手	2017-2023年	京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 拠点長
1983-1988年	近畿大学 理工学部 講師	2020-2024年	京都大学 高等研究院 副院長
1988-1992年	近畿大学 理工学部 助教授	2017年-	京都大学 高等研究院 特別教授
1992-1998年	東京都立大学 理学部 教授	2024年-	京都大学 理事・副学長（研究推進担当）
1998-2017年	京都大学 大学院工学研究科 教授		

【主な受賞等】

・日本化学会賞（2009年）	・日本化学会名誉会員（2017年）
・トムソン・ライター引用栄誉賞（2010年）	・フランス化学会グランプリ（2018年）
・紫綬褒章（2011年）	・エマニュエル・メルク レクチャーシップ賞（2019年）
・京都大学孜孜賞（2013年）	・日本学士院会員（2019年）
・英国王立化学会フェロー会員（2013年）	・錯体化学会名誉会員（2021年）
・江崎玲於奈賞（2013年）	・英国王立協会外国人会員（2023年）
・日本学士院賞（2016年）	・京都府文化賞特別功労賞（2025年）
・米国化学会バソコ賞（2016年）	・文化功労者（2025年）
・藤原賞（2017年）	・文化勲章（2025年）
・ソルベイ未来化学賞（2017年）	・ノーベル化学賞（2025年）